

2007 年度

科目名 文献講読Ⅱ	対象学科・学年 文学部文財2回生	担当者 犬木 努
授業テーマ 原書講読により諸外国の考古学の研究状況を学ぶ		
授業の概要と目標 日本では考古学は歴史学の一部であるのに対して、アメリカでは考古学は人類学の一部である。一口に考古学といっても国によって様々な特徴がある。本講義では英語文献を輪読し、異国の考古学の方法論や分析手法についての基礎的な知識を習得するとともに、日本考古学の現状を考える手がかりとする。		
評価方法 ①普段の出席状況、②授業中の英訳の正確さ、③学年末の筆記試験の点数によって評価をおこなう。		
テキスト 授業時にプリント（テキスト）を配布する。 『プログレッシブ英和中辞典』	著者	出版社 小学館
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 Colin Renfrew、Paul Bahn "Archaeology"を読み進めていく。 事前に訳出箇所を割り当て、受講生全員に毎回、担当箇所を訳してもらう。 ※授業回数は学年末試験を含めて30回を予定している。 ※大学院進学を目指す学生はぜひ受講されたい。 <u>■『プログレッシブ英和中辞典』（小学館）を用いるので、毎回持参してください。もっていない人は、購入すること。</u> <u>・なお、旺文社『新英和中辞典』または三省堂『グランドコンサイス英和辞典』でも可。他の辞書は使用不可（自宅での使用は不問）。</u> <u>・講義中の電子辞書使用は不可とする（自宅での使用は不問）。</u>		